

愛知・岐阜 地方会

第4号

第4回 愛知・岐阜 地方会 2015年10月17日 (土) 13:00~17:00

岡崎市民病院 地下2階 大会議室

「みんなで高めよう! コミュニケーションスキル~もう悩まない! 苦手な医師との付き合い方~」

第4回 愛知・岐阜地方会

岡崎市民病院



第4回 愛知・岐阜地方会は、「みんなで高めよう! コミュニケーションスキル! ~もう悩まない! 苦手な医師との付き合い方!!」をテーマに、岡崎市民病院で開催いたしました。

医師事務作業補助者にとって重要な【コミュニケーションスキル】を脳科学の視点から学び、実践方法を体験しました。また、当地方会では初のQ&Aフォーラム~医師・実務者 全員参加型のディスカッション~を行いました。

【特別発言】

岡崎市民病院 院長 木村 次郎先生

医師と患者さん・家族の架け橋に!!



岡崎市民病院 院長 木村次郎先生からは、「医師事務作業補助者の皆さんは、病院の運営の根幹に関わる色々な業務を行っています。

医療人に求められるのは、

- ①確かな知識と技術に裏打ちされた強い優しさ
- ②それを動かす原動力は病める人への限りない愛
- ③それを滑らかに回す潤滑油はチームワークである

と考えます。そして、医師の一番近くにいる医師事務作業補助者の皆さんは、医師と患者さん・家族の架け橋になってください。」とエールを頂きました。

講演【医師という職種の理解と対応-脳からみたところ-】

講師：岡崎市民病院 副院長 早川 文雄先生

人間の心は自信と安心の貯金箱!!



早川先生からは、①変人とは何か？②医師には変人がなぜ多い？③難しい医師の理解と対処法 についてお話いただきました。
タイプ別困った医師像の特徴、対処法を教えてください、実際に対応の難しい医師の対処法の糸口が見つかった方も多いと思います。
「人間の心は自信と安心の貯金箱。自信がなくなると、ストレスという出費で貯金がなくなってしまう。相手の貯金状態を見極めたうえで頼む時を考えることが大事。心にたまっている自信と安心が、穏やかで豊かな対応を保障してくれます。医師を知り己を知れば百戦危うからず!!」と締めくくられました。

講演【フレーズ体験で学ぼう!医師とのコミュニケーションスキル!】

講師：藤田保健衛生大学 教授 米本 倉基先生

コンパクトに話をまとめる努力!!



米本先生からは、『コック・ヨネさんの3分ドクタークッキング』と題し、体験型の講演でした。「日頃からコンパクトに話をまとめる努力をする事がコミュニケーションスキルをあげるコツです。まず、コミュニケーションは自分の問題であるにとらえましょう。相手のタイプを見極め、タイプ別に言い方・ほめ方を変えてみる工夫が大切です。また、「私は・・・と思う」といった言い方(「I」のメッセージ)を使えば、相手に感情が伝わりやすくなります。ちょっとした改善でコミュニケーションは変わります。ぜひ「I」のメッセージを使って、コミュニケーションというものを理解する出発点として下さい」とお話いただきました。

Q&Aフォーラム ～医師・実務者 全員参加型のディスカッション～ 米本 倉基・小島 敏美

回答者

岡崎市民病院 院長 木村 次郎先生

岡崎市民病院 副院長 早川 文雄先生

総合大雄会病院 副院長 村瀬 寛先生

NPO法人日本医師事務作業補助研究会 理事長 矢口 智子

NPO法人日本医師事務作業補助研究会 理事 西川 由美子

座長の米本先生の誘導もあり、会場からは多数の質問があがりました。

いくつか質問をご紹介します。

- ①多職種との仕事のすみわけをするポイントは？
- ②期限を守らない医師への対応、催促の仕方はどうすればよいですか？
- ③医師事務作業補助者に対し、ズバリ医師が求めるものは？
- ④扱いにくい医師事務作業補助者のタイプは？
- ⑤ローテーションに対する医師の考えは？



職能団体化を目指します!!



矢口智子理事長からは、当研究会の設立目的、支部活動の役割、各支部の活動内容、今後の医師事務作業補助者についてお話いただきました。今後は、医師事務作業補助者の職種確立のアクションとして

- ①資格化(継続教育体制の構築)
- ②呼称の統一
- ③経営効果指標の開発

を行っていき、職能団体化を目指しますと、力強くお話しされました。

参加役員の感想

藤田保健衛生大学 教授 米本 倉基先生



そろそろ職能団体として確立していく時期!!

医師事務作業補助という職種に非常に注目しています。この職種は、年々充実してきており、行政の動きを見ても完全に無視出来ない職種となってきました。そろそろ職能団体として確立していく時期になってきていると思っています。皆さん頑張って下さい。

参加医師の感想

総合大雄会病院 副院長 村瀬 寛先生



みなさんは、医師にとって非常にありがたい存在!!

皆さんの熱意に感心しています。皆さんのような職種は我々医師にとっては非常にありがたい存在です。今回は、コミュニケーションの話が色々ありましたが、実践しても上手くいかない事もあると思いますが、めげずに医師との円滑なコミュニケーションをとって頂きたいと思います。また、我々医師は、非常に感謝しており、皆さんに頼っています。そしてそれが患者様の為になっていると思います。皆さんの仕事は、医療を行ううえで非常に貢献していると思います。やりがいを持って頑張って下さい。

参加医師の感想

岡崎市民病院 副院長 早川 文雄先生



医師を巻き込んで、業務の貢献に努めて下さい!!

医師事務作業補助者という職種には3つの柱があると思います。それは医療知識の向上・パソコンスキルの向上・コミュニケーションスキルの向上です。コミュニケーションスキルについてはアプローチが難しくなかなか手が付けられない所ですが、今回あえてそれをテーマに会を開催させて頂きました。今回の話が少しでも皆さんの業務に役立てば良いと思います。皆さんのステータスについては、必ず病院の中で役に立つと実感している医者はいると思います。そういった医師を巻き込んで、業務の貢献に努めて頂きたいと思います。

懇親会 ROPPONGI

懇親会は ROPPONGIで開催いたしました。開会の挨拶は、今回の地方会で、大変ご尽力を頂いた岡崎市民病院 医療情報室 班長 鈴木 康夫さんに、閉めは 副院長 早川文雄先生にお願いしました。

大変和やかで、楽しく、そして有意義な懇親会となりました。皆様の参加をお待ちしています。



愛知・岐阜支部 支部長より

小島 敏美

前回に引き続き、愛知文教女子短期大学 2年の生徒さんがボランティアとして参加いたしました。2回目ということで、配付資料の準備、会場案内など、積極的に活躍して頂きました。

第4回 愛知・岐阜地方会は、当支部代表世話人の早川先生、世話人の池田さんを始め、岡崎市民病院のスタッフのみなさまのご協力のもと、無事開催する事ができました。岡崎市民病院の皆様、関係者の皆様、本当にありがとうございました。

最後になりますが、ご参加頂いた皆様、本当にありがとうございました。当支部では参加者の皆様から頂いた貴重なご意見・ご感想を元に、今後も医師事務作業補助者の知識習得、スキル向上に繋がる活動を行っていきます。今後とも、どうぞ宜しくお願い致します。



【第5回 愛知・岐阜 地方会 案内】



《日にち》平成28年5月7日（土）
《時間》未定
《場所》愛知文教女子短期大学
《住所》愛知県稲沢市稲葉2-9-17
《内容》未定

※詳細は決まり次第NPO法人日本医師事務作業補助研究会ホームページに掲載致します。

<お問合せ先> 社会医療法人大雄会 総合大雄会病院 MC課 MCG

[TEL] 0586-72-1211 (代)

[E-Mail] d-jimukyoku@daiyukai.or.jp